



稲吟OB会会報

No.25

稲吟OB会公式ホームページ <http://www.togin.org/>

発行：2006（平成18）年8月31日 発行者：早稲田大学稲吟OB会事務局
編集発行責任者：田中ゆみ子（稲吟OB会事務局） 通巻第25号「稲吟OB会NEWS」改題

創立50周年記念大会を終えて

今回は、10年前に創立「40」周年記念大会を担い、かつ昨年の「50」周年大会にも準備段階からかかわったお二人にご寄稿いただきました。

「10年後も楽しみに」

立川一樹（平9）

稲吟OB会のみなさま、ご無沙汰しております。平成9年卒会の立川です。

今回は昨秋におこなわれました50周年大会について書かせていただきます。

ちょうど10年前の40周年大会で私は幹事長をしておりました。そのため、50周年大会の準備を始める時期には「もう10年たつのか」となつかしさと時の流れの速さを感じたものです。

仕事が忙しくなってしまったこともあり、なかなか時間が取れず、実行委員会には数回しか顔を出せませんでした。しかし、学生執行部の方は学生当時の私どもから考えるととてもしっかりしており、OB会実行委員とのコミュニケーションもとれているよう

でしたので、安心してまかせることができました。

実際行われた発表大会・祝賀会はとてもすばらしい出来でした。祝賀会における学生のみなさんによる学年別紹介などは若さ・ユーモアにあふれたもので、一生懸命考えかつ楽しまなければならないものでしょう。

50周年大会の幕が降り、次の代にバトンが渡されました。10年後にも同じように発表大会で楽しむ学生をみることを楽しみにしております。



↑ 創立50周年記念大会当日の受付の様子

目次 「創立50周年記念大会を終えて」・・・1 ～2 創立「51」年目の発表会に向けて・・・2～3
事務局から・・・4

「学生吟の復活」

福澤衛二(平9)

諸先輩方の強い希望もあって、50周年大会は学生吟の復活を目指すことになりました。学生もOBも時間の限られた中、休日の新学生会館で「白虎隊」の練習を2回ほど行いました。学生たちは初めて聞く「稲吟会流節調」に、最初は目を丸くしていましたが、さすがは学生、数回見本を見せるだけで、すぐに口ずさむ



ようになっていました。その後はご多分にもれず、早稲田界限でOB・学生との交流会を開催しました。学生の詩吟に対する熱意に触れることができ、とてもいい経験になりました。

←創立50周年記念大会当日の練習風景

創立「51」年目の発表会に向けて

さて、今年は創立「51」年目の発表会が控えています。そこで、稲吟会幹事長の小林君、新入生の根間君に寄稿していただきました。

「新たな一歩」

稲吟会幹事長 小林明仁(社3)

早稲田大学稲吟会は、本年度は7名の新入生を迎え入れる事が出来ました。ここ数年の新入会員と比較すると人数は若干少ないですが、その分会員一人一人と密な関係を築くことが出来ていると思います。

創立50周年記念大会を終えた昨年末から今年の頭くらいまでは、皆気が抜けてしまい、会全体の雰囲気は緩んでしまった時もありました。

しかし、新たな目標として秋に発表会を設定してからは、会員全員に気合が入り、昼練や学館練にも真剣に打ち込んでいます。また、詩吟だけではない稲吟会の良い所を再認識する意味を込めて、明治大学詩吟研究部などの友情校や友好サークルなど、他団体とも積極的に関わっていきました。OB・OGの先輩方のご後援のおかげもありまして、現在稲吟会の活動はますます充実しています。

私たち第51代執行部の踏み出す一歩が、次の大きな目標である「100周年」への新たな一歩となるよう、会員一同努力していきます。また、お時間があれば夏合宿などに是非お越し下さい。

最後に、OB・OGの先輩方、本年度もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

「稲吟会に入って」

根間博之(社1)

空気がとても硬かった。その張り詰めた空気の間隙を縫って振動が体に伝わってくる。静寂が空間を包み込み、ただ響き渡る音が一本の線を作り出し、私はその線を頭に描いては反芻していた。

それが練習見せの日の、いわば初めての詩吟との出会いだっただ。吟が終わると、空気は突如柔らかくなり、暖かくなった。

私は、その良い意味での温度差に惹かれて稲吟会に入った。詩吟のことなど何一つわかりもしなかったのに、だ。だが、その選択は間違いではなかったと確信している。

学館練等の際の緊迫感は日常では味わえないものであるし、日常は先輩や友に恵まれ、居心地が良いことこの上ない。

来年、新入生が入ってきたらこの素晴らしさを伝えたいし、伝える義務があるだろう。そうやって作り上げられる伝統の一端を担えるのなら、稲吟会員として、幸せであることこの上ない。



創立 50 周年記念大会当日の祝賀会の様子

植田重雄先生ご逝去

稲吟会初代会長として会の創成期を支えてくださった植田重雄先生(早大名誉教授・宗教学)が5月14日、83歳でなくなられました。6月3日に行われたお別れの会には、稲吟会・OB会の代表も参列いたしました。謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

◆◆ 事務局から ◆◆

年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には、年会費（7,000円）の納入をお願いいたしております。ご協力誠にありがとうございました。なお、まだお支払いでない方は下記の口座に納めていただけますとありがたいです。二年以上お振込の確認が出来ない場合、名簿・会報の郵送サービスが停止されます。

各位の会費納入実績につきましては、稲吟 OB 会事務局会計幹事板倉真介(平成 10)にお問合せください。

お問合せは往復はがき、もしくは電子メールにてお願い致します。(電話でのお問合せはご遠慮ください)

・往復はがきでのお問合せ方法 ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面にご記入ください。

・電子メールでのお問合せ方法 板倉真介(平成 10)宛てに氏名、住所、卒業年度をお知らせください。お答えできるのは、お問合せを頂いたご本人の納入実績に限ります。

口座名：早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740

年会費 7,000円

恐れ入りますが振替手数料はご負担ください。単年度ぶんですと1070円です。

稲吟会発表大会日程決まる

今年の稲吟会の大会日程が決まりました。学生の発表会がよりいっそう盛り上がるよう皆で参集して応援しましょう！当日はOB会の定例総会も開催予定です。昼は学生の若々しい声に酔い、夜は杯を交わしつつ旧交を温めませんか。お誘いあわせの上、ご参集ください。

10月21日(土) 於：戸山社会教育会館(大久保通り沿い)

詳細は、決まり次第 Web 等でお知らせいたします。

担当者からのお知らせ

2002年夏号より田中(平成10卒)が会報作成を担当してきましたが、本号をもちまして、担当者が交代することになりました。この4年間、ご協力いただきましてありがとうございました。(田中)